

研究班報告 5 地域連携研究班

「2期目の地域デザインフォーラム
～ その経過と展望 ～」

中村 昭雄

1. 今までの研究経過：

まず、ここでは前回のニュースレター発行後(概ね2003年3月以降)の経過について報告する。

「地域デザインフォーラム」の3分科会(①地域ネットワーク、②生活福祉、③産業振興)は、2期目初年度のまとめにあたり、それぞれ「地域デザインフォーラム・ブックレット」という形で中間報告書をまとめた。以下、簡単に紹介する。

ブックレットNo.1『コミュニティビジネスが地域を変える』(63頁)・・・これは、地域ネットワークのコミュニティビジネス研究班の研究成果である。ここでは、最近活力を失っている地域社会が、元気・活力を取り戻す一つ的手段として注目しているコミュニティビジネスについて、その基礎知識、事例の紹介、今後の課題や展望について、まとめている。

目次は以下の通りである。

はじめに

第1章 コミュニティビジネスの基礎知識

第2章 板橋区のコミュニティビジネス

第3章 先進地域の事例研究

第4章 コミュニティビジネスの活性化に向けて

おわりに

ブックレットNo.2『板橋区民のコミュニティ意識調査』(107頁)・・・これは、第1期に板橋区民を対象に行ったアンケート調査の結果と分析を、さらに精緻化してまとめたものである。

目次は以下の通りである。

はじめに

第1章 板橋区の概要

第2章 区民のコミュニティ意識の調査から

第3章 居住地域による特性

おわりに

ブックレットNo.3『高齢者の社会参加の促進』(58頁)・・・これは、生活福祉分科会の研究成果である。ここでは、健常高齢者を対象として、その雇用、ボランティア活動、学習活動について報告している。

目次は以下の通りである。

第1章 第2分科会の第2期の重点課題について

第2章 高齢者就労支援対策の紹介と今後の研究方向

第3章 ボランティアの活用

第4章 生涯学習の充実～行政と大学の連携

第5章 高齢者の生きがい保障の条例化への検討課題～高齢者像の射程

第6章 高齢者対策の指針

第7章 高齢者の生活実態志向調査について

ブックレットNo.4『産学公連携による学生ベンチャー支援』(52頁)・・・これは、産業振興分科会の研究成果である。ここでは、大東文化大学を地域産業の(板橋区の)活性化の中心的な

存在とし、共同研究から産学公が一体となった産業振興への活動が紹介されている。

目次は以下の通りである。

- 第1章 産学公連携による企業支援の意義
- 第2章 起業アイデアコンテストの現状と課題
- 第3章 起業支援講座
- 第4章 大東文化大学学生起業支援基金

2. 2003年度（2期目2年目）の研究活動：

2003年度は全体会活動よりも、2期目の最終報告書を念頭においた各分科会活動に重点が置かれた。

【全体会】

第1回（2003.4.23）・・・辞令交付、国際比較政治研究所五味所長挨拶、研究員の移動・補充、平成14年の活動内容と平成15年度の研究計画、『共生へのパートナーシップ』出版の件など。

第2回（2003.12.3）・・・新任研究員の紹介、デザインフォーラムの企画、最終報告書のスケジュール、分科会報告など。

なお、この日は全体会終了後、『行政・大学連携による新しい政策形成－共生へのパートナーシップ』の出版記念披露を大東文化大学50周年記念館・4階小会議室で行った。

『行政・大学連携による新しい政策形成－共生へのパートナーシップ』（編集代表・中村昭雄、ぎょうせい、税込み2,600円、266頁）は、地域デザインフォーラムの第1期2年間の最終報告書（2002年3月作成）をもとに、市販本としてまとめたものである。

出版記念披露には、板橋区からは石塚区長はじめ、助役、収入役、教育長、研究員、大学院講義担当者ら約20名が参加した。大学からは、須藤学長はじめ、学部長、国際比較政治研究所所長、研究員ら約20名が参加した。そのほか、来賓として同窓会、父兄会、出版社の方が出席した。

『行政・大学連携による新しい政策形成－共生へのパートナーシップ』の目次は、以下の通りである。

- 第1章 【座談会】地域連携研究の出発と成果（石塚輝雄板橋区長、須藤敏昭大東文化大学学長、和田守法学部教授、司会／中村昭雄法学部教授）
- 第2章 高齢化社会を迎えて
- 第3章 地域産業の活性化
- 第4章 まちづくりとコミュニティ
- 第5章 パートナーシップの原則と意義
- 第6章 【座談会】共生へのパートナーシップを求めて（板橋区健康生きがい部長安井賢光氏、同企画部長佐々木末廣氏、和田守法学部教授、土岐寛法学部教授、上遠野武司経済学部助教授、司会／中村昭雄法学部教授）

なお本書は、大東文化大学平成15年度特別研究費・研究成果刊行助成金を交付された。

【分科会】次に、それぞれの分科会の研究活動の概要を紹介する。

分科会 I 【地域ネットワーク】

2003.5.7・・・今年度の研究テーマ、担当者を決める。

2003.7.23・・・研究員の移動があったため、分科会を以下のように再編成した。①コミュニティビジネス班（堺、中村、第3分科会から相田、横田）、②コミュニティカレッジ班（土岐、松田、和田、渡辺）、③自治体比較指標の板橋モデル（浅野、松田）。

コミュニティビジネス班は、以下のような活動を行った。

2003.5.27・・・今後の予定、板橋区のコミュニティビジネスに関するスケジュール、今後のアプローチなどについて。

2003.6.17・・・協働をテーマにコミュニティビジネスと地域の活性化について検討。

2003.10.29・・・区コミュニティビジネス関連事業の進捗状況、視察先の選定、報告書の骨子

案などを検討。

2003.11.19・・・先進地域視察について、確認と打ち合わせ。

2003.12.4～6視察・・・主な訪問先：兵庫県産業労働部雇用就業課生きがい就業係、生活の場サポートセンターひょうご、生きがいしごとサポートセンター神戸“わーす”、京都高度技術研究所内 XO クラスター、地域通過おうみ委員会、滋賀県長浜市のまちづくりと黒壁運動など。

2003.12.24・・・最終報告書の構成、分担、編集委員等を検討。

分科会Ⅱ【生活福祉】

2003.5.23・・・アンケート調査の設計、今後の研究分担項目などの検討。

2003.6.11・・・足立区役所調査（足立区高齢社会対策基本条例など）。

2003.8.14・・・内閣府調査（国の高齢社会対策と地方公共団体の責務）。

2003.8.18・・・新宿区高齢者無料職業紹介所調査。

2003.9.7、10・・・ボランティア団体調査。

2003.9.12・・・シルバー人材センター調査。

2003.9.20～21・・・合宿（就業、学習、ボランティア、総合的推進方策の項目ごとの報告、検討）

2003.10.10・・・板橋区グリーンカレッジ調査。

2003.12.13・・・ブックレットの検討、今後のスケジュールの検討。

分科会Ⅲ【産業振興】

2003.4.30・・・花巻、盛岡視察報告、平成15年度の研究テーマについて、今後のスケジュール。

2003.5.15・・・大田区の産業集積地の視察。

2003.5.17・・・平成15年度の先進地視察について、大東文化大学起業アイデアコンテスト支援セミナーについて。

2003.6.2・・・産業集積について、花巻の企業視察報告。

2003.6.7・・・三六工芸印刷の斉藤会長を講師として招き、板橋区の印刷業の実態と自社の経営について講演。

2003.8.26・・・大東文化大学起業アイデアコンテスト審査委員について、最終報告書に向けての意見交換、東京都の資源活用型事業について。

2003.9.19・・・都市産業研究所の伊藤清武氏、北区経済課津島玄氏を招き、北区における産業の現状と産業振興策、都・北区・板橋区の共同事業である「地域資源活用型産業活性化プロジェクト」について意見交換。

2003.10.4・・・最終報告書の内容について、合宿について。

2003.11.8・・・産業集積について

2003.12.13～14・・・研究合宿（最終報告の各所発表と意見交換）

3. 今後の課題

既にニュースレターNo.12で触れたように、大東文化大学が地域に開かれた大学を目指すならば、こういった大学と行政をはじめとする地域との共生をさらに推進することが必要であろう。大東文化大学は、平成15年に創立80周年を迎えた。これを機にさらに地域と世界に開かれた大学としての発展を望むならば、全学的な「地域共同研究センター」の設置を検討したらどうであろうか。